

令和7年7月17日

## 大学評価・IR 担当者集会 2025 の開催について(第2次案内)

大学評価コンソーシアム

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

### 1. はじめに

今年度の大学評価・IR 担当者集会は、大学評価や IR に関する8つのセッションで開催します。セッションの詳細が決まりましたので、ご案内します。

各大学の課題を共有し、解決するための「手がかり」を持ち帰ってもらうことを主眼に置き、実践的なセッションとなるよう企画しています。そのため、グループワーク等も取り入れて、全てのセッションを基本的に対面で実施します。また、今年度は、本コンソーシアムの継続的な取組としての会員能力調査の結果速報値報告と、昨今の高等教育を取り巻く事情を勘案した新しいセッションを企画しています。情報交換会(懇親会)はありません。

### 2. 主催者・共催者

主催:大学評価コンソーシアム、九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

共催:西南学院大学、日本計算機統計学会

### 3. 日時

令和7年9月4日(木) 9:30~16:30

9月5日(金) 9:00~12:00

### 4. 会場

会場:西南学院大学 2号館

<https://www.seinan-gu.ac.jp/introduction/facility/campusmap.html>

福岡県福岡市早良区西新 6-2-92

### 5. 対象と参加費

- 大学評価、IR およびその関連業務に従事する方を対象とします。営利企業の方でも参加いただけますが、大学評価および IR 現場に関する情報交換が可能な方に限ります(情報交換にあたっては事前に顧客のみなさまから公表に関する承諾などを得るようにしてください)。
- 参加費は無料です。

### 6. 今後のスケジュール

- 参加申込受付は、7月22日(火)13時から8月21日(木)17時までです。詳細は「9. 申し込み方法」をご覧ください。定員に達した場合、受付期間内であっても締め切る場合があります。

- 9月2日(火)に資料をオンラインで公開予定です。原則的に、紙での資料配付はありません。

## 7. セッションのご案内

9月4日(木)	
9:30～10:00	<p><b>全体会</b></p> <p>本集会の趣旨や本コンソーシアムの最近の活動・取組について報告します。主な内容として、「IR(評価)担当者の知識、技能の実態調査」を3年に1回実施しており、今年度が4回目の調査になります。本集会の開催直前まで実施した調査結果(速報版)について説明します。</p> <p>○大野賢一(鳥取大)、浅野茂(山形大)、藤井都百(九州大)、藤原将人(立命館アジア太平洋大)</p>
10:00～16:30	<p><b>R1：IR初級者セッション</b></p> <p>本セッションでは、IR担当者になったばかりの方(概ね1年未満の経験をお持ちの方)を対象に、「IRについての基本的な考え方」、「IR業務を円滑に進めるうえでの課題や注意点」、「米国におけるIR」および「データ処理・管理の基礎」等について学びます。なお、事前課題が開催日1週間前までには出されますので、あらかじめ取組んでおいてください。午前は講義を行います。最初に日本のIRに関する講義、次に米国大学でIR実務を担当した講師の経験と、日本での実践・教育経験を踏まえ、両国におけるIR担当者の特徴や役割の違いを紹介します。午後はグループワークを行います。出された事前課題および教学データでよく使われるGPAについての演習を行います。</p> <p>○小湊卓夫(九州大)、岡部康成(帯広畜産大)、紺田広明(福岡大)、齋藤涉(東北学院大)、鈴木達哉(山形大学)、田中秀典(宮崎大)、橋本智也(大阪公立大)、藤原宏司(山形大)</p>
10:00～16:30	<p><b>E1：評価初心者セッション</b></p> <p>評価担当者として「評価とは何か」について基本的事項を理解するためのセッションです。評価に関する基本的知識を講義した後、自己評価書作成(チェック)演習を4～5人によるグループで行います。想定する参加者は、評価の実務経験がほとんどない方(概ね1年未満)です。</p> <p>○関隆宏(新潟大)、飯田真由美(東洋英和女学院大)、藤井都百(九州大)、藤原将人(立命館アジア太平洋大)、山咲博昭(広島市立大)、土橋慶章(神戸大)</p>
10:00～16:30	<p><b>ER1：評価・IR担当者のための「高等教育政策・法令」入門セッション</b></p> <p>大学評価、とくに認証評価の担当者や教育改善支援を担当するIR担当者が、必ずしも高等教育政策の動きや関連法令に精通しているわけではない、ということを目にします。本セッションでは、政策(主要答申)や法令(学校教育法、大学設置基準等)について、基本的な事項を解説するとともに、現場での実践事例を交えてコンパクトな勉強会を実施します。一部他の参加者との意見交換もあります。事前に、「我が国の『知の総和』向上の未来像～高等教育システムの再構築～」(答申)</p>

	<p>および学校教育法、大学設置基準、大学院設置基準についてご一読されることを勧めます。</p> <p>○大野賢一(鳥取大)、浅野茂(山形大)、岩野摩耶(山口大)、上畠洋佑(新潟大)、江端弘樹(福井大)、大津正知(茨城大)、末次剛健志(長崎大)、竹中喜一(近畿大)、鈴木拓人(筑波技術大)、山本鉦(九州工業大)</p>
10:00～16:30	<p><b>ER2: 評価、IR、内部質保証担当者相互による課題解決のための討論セッション</b></p> <p>評価、IR、内部質保証担当者は、課題を抱えながらも学内ではなかなか相談の機会がないケースがあります。本セッションでは、参加者が自大学における大学評価(計画立案、進行管理、指標モニタリング等)、IR(活動設計、サーベイ設計・運用、学内の情報のロジスティクス等)、内部質保証(組織的かつ継続的な改善活動の設計やそのための仕掛け、支援等)について、事例と課題を報告いただき、参加者相互の意見交換、情報交換を通して、解決のためのヒントを持ち帰っていただきます。参加メンバーと共有いただける事例と課題によりプログラムが決定します。なお、参加者および事例については、8月上旬に中間状況、申し込み締め切り後にセッション参加者のみなさまにご案内を送付予定です。</p> <p>参加申し込みをされる方は以下のフォームに課題等についてご入力ください。  <a href="https://forms.office.com/r/E54KwMqCVQ">https://forms.office.com/r/E54KwMqCVQ</a></p> <p>※ 参加者のテーマに応じて、進行等を担当するスタッフを配置します。お問い合わせ等は、<a href="mailto:jcache_m2024@googlegroups.com">jcache_m2024@googlegroups.com</a> (大学評価・IR 担当者集会 2025 運営担当)までお寄せください。</p>

※昼食・休憩時間はセッションにより異なります。当日は、大学内で生協食堂が営業しています。

9月5日(金)	
9:00～12:00	<p><b>R2 : IR 実務担当者セッション</b></p> <p>4名の話者が提供するIR実践事例を原則的に全問回答の質疑応答で掘り下げることで実践力向上を図るセッションです。完了事例だけでなく現在進行形の事例の報告も可としています。プログラムは別紙1をご覧ください。</p> <p>○橋本智也(大阪公立大)、上畠洋佑(新潟大)、土橋慶章(神戸大)、藤原将人(立命館アジア太平洋大)</p>
9:00～12:00	<p><b>S : 初歩的な統計講座</b></p> <p>事務系職員を対象としたデータを分析する際に最低限持っておきたい統計の基礎知識を学ぶ勉強会です。データの種類を確認することからスタートし、データの散らばりの指標やグラフ表現、2変数の関連性の分析、母集団と標本の考え方などを学びます。簡単な演習問題に取り組む時間を設ける予定です。なお演習ではExcelを使いますのでパソコンを「必ず」ご持参ください。</p> <p>藤野友和(福岡女子大)、山本義郎(東海大)、本多啓介(統数研)、小湊卓夫</p>

	(九州大)、紺田広明(福岡大)
9:00～12:00	<p><b>ER3：IR／内部質保証を機能させる体制等検討会</b></p> <p>学部・学科運営に関わる副学部長や学科長等、事務部門の部課長等の役職者(経験者含む)を主たる対象者(未経験者でも、興味・関心のある方の参加可)として、IR や内部質保証の体制を機能させるための条件等について昨年度、検討したセッションの内容等を踏まえて再度、設定するセッションです。当日の議論のための参考情報として、昨年度、参加者の皆様と討議させていただいた情報を紹介するとともに、日本の大学における学長及び部局長等へのインタビュー結果などを話題提供させていただきます。加えて、今年度米国で開催された AIR(Association for Institutional Research)年次大会に関する情報も共有し、海外におけるIR の最新動向についても参考にしながら、参加者の皆様と IR や内部質保証体制を機能させるために何が必要かといったことを討議し、促進要因や阻害要因といったことを整理します。</p> <p>○浅野茂(山形大)、岩野摩耶(山口大)、末次剛健志(長崎大)、鈴木拓人(筑波技術大)、岡部康成(帯広畜産大)、竹中喜一(近畿大)</p>
9:00～12:00	<p><b>E2：「AI-ready」からはじめる大学評価改革</b></p> <p>—自己点検評価報告書作成の効率化と評価疲れ対策—</p> <p>本セッションでは「自己点検評価報告書を AI に生成」してもらったら、現時点の技術ではどのくらいの出来具合のものが可能かを探ります。この試みで生成 AI に指示を与える際に、評価担当者が行ってきた評価作業を明確に言語化する過程を伴うため、その意味で、技術的な整理を行うだけでなく、従来の大学評価業務を見つめ直すものでもあります。</p> <p>大学評価、特に、受審の際の提出書類作成にあたっては、短期間で膨大な量の資料類を扱うことが当然のようになっており、その作業に疲弊する者も多いと聞きます。最新技術の力で補えるものは積極的に活用し、自己点検評価の重要な要素である改善につながる議論に投入するための時間と余力を捻出することが、本企画の最終的な目標です。</p> <p>セッションでは、持参した PC を使って実際に生成 AI を動かしてみる時間を設けます。職務で提供されているサービスを使うことを推奨しますが、個人契約のものでも構いません。生成 AI の利用経験はあると望ましいが必須ではありません。</p> <p>○藤井都百(九州大)、荒木俊博(淑徳大)、森木銀河(民間企業)、飯田真由美(東洋英和女学院大)、江端弘樹(福井大)、大野賢一(鳥取大)、齋藤渉(東北学院大)、関隆宏(新潟大)、山咲博昭(広島市立大)</p>

## 8. 過去の開催実績について

- 前回(令和6年度)の開催報告については、以下の web サイトをご覧ください。

### ○大学評価コンソーシアム

<https://sites.google.com/view/jcacha/活動成果報告/大学評価ir担当者集会/第18回r6-9-5-9-6>

### ○九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/prof>

## 9. 申し込み方法

- 参加申込は、九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターが設定する特設サイトにおいて、7月22日(火)13時から、8月21日(木)17時までの期間にお申し込みください。受付期間中であっても、定員に達した時点でセッションごとに申し込みを締め切ります。キャンセル待ちは受付ません。
- 申し込み後に参加を取り消される場合は、「**10. 問い合わせ先**」に記載したメールアドレスへ必ずご連絡ください。
- セッションごとの URL は以下の通りです。同じ時間帯に複数のセッションが並行開催されますが、参加できるのは1つのみです。申し込みは、おひとりにつき1日1セッションまででお願いします。これを超えた申し込みがあった場合、申し込みを取り消させていただきますので、予めご了承ください。
- 申し込み方法の詳細は、別紙2(8-9ページ)をご覧ください。

9月4日(木)		定員
10:00～16:30	R1:IR 初級者セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/402">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/402</a>	30名
10:00～16:30	E:評価初心者セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/403">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/403</a>	25名
10:00～16:30	ER1:評価・IR 担当者のための「高等教育政策・法令」入門セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/404">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/404</a>	35名
10:00～16:30	ER2:評価、IR、内部質保証担当者相互による課題解決のための討論セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/405">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/405</a>	10名
9月5日(金)		
9:00～12:00	R2:IR 実務担当者セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/406">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/406</a>	30名
9:00～12:00	S:初歩的な統計講座 <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/407">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/407</a>	30名
9:00～12:00	ER3:IR/内部質保証を機能させる体制等検討会 <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/408">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/408</a>	10名
9:00～12:00	E2:「AI-ready」からはじめる大学評価改革 ―自己点検評価報告書作成の効率化と評価疲れ対策― <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/409">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/409</a>	30名

各種研修等のご案内などを希望される方は、以下のメーリングリスト(登録費・会費無料)にご登録ください。

○大学評価コンソーシアム(会員登録):大学評価や IR に関する研修

<https://sites.google.com/view/jcache/会員登録変更申請>

○九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター(拠点 ML 登録):FD/SD および専門的職員(アドミッション、カリキュラム、IR)に関する研修

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/maillinglist>

## 10. 問い合わせ

<申込に対する問い合わせ>

[kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp](mailto:kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp)

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

<内容に対する問い合わせ>

[jcache\\_m2024@googlegroups.com](mailto:jcache_m2024@googlegroups.com)

大学評価・IR 担当者集会 2025 運営担当

[fujii.tomo.066@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:fujii.tomo.066@m.kyushu-u.ac.jp)

藤井都百 (庶務担当副代表幹事、九州大学 インスティテューショナル・リサーチ室)

以上

## 別紙 1

### R2:IR 実務担当者セッションの報告内容の詳細

#### 「教育研究職員の活動状況を可視化するアクティビティレポート機能の紹介」

山本 鉦 (九州工業大学)

九州工業大学では教育職員評価を 3 年に一度実施してきたが、労力の削減、毎年の実施、結果の有効活用などの課題が顕在化した。そこで、研究者情報 DB に登録された情報や書誌情報などを活用した定量評価を自動化し、それを参考材料に部局長が定性評価を行えるアクティビティレポート機能を構築した。これにより毎年の評価の実施だけでなく、他の業務の効率化も実現した。本機能を紹介し、参加者との意見交換を通じて、今後の改善に向けた知見を得たい。

#### 「全国学生調査結果の活用方法」

三宅 将史 (公立鳥取環境大学)

全国学生調査は、各大学が自大学の学生の実態や意識を踏まえた教育改善に活用することが目的の一つである。そこで、本学での集計・分析結果を報告しながら、参加者の皆さんと、各大学がどのように可視化・分析を行っているか、参加者の皆さんと意見交換をしたい。

#### 「「知の総和答申」に IR は何ができる？ —生成 AI を活用した教学マネジメントの可能性—」

栃木 哲朗 (創価大学)

本年 2 月にとりまとめられた「知の総和 答申」では、大学の「規模の適正化」が注目されているが、「質の向上」として「学修者本位の教育の更なる推進」、「全学的な教学マネジメントの確立が必須」と述べられている。

本学で取り組んでいる学修者本位の取り組みを紹介するとともに、生成 AI を活用した教学マネジメントの可能性について話題提供させて頂きたい。

#### 「海外における教育の内部質保証、IR、FD の現状について」

○ 畠田 敏行 (NIAD-QE)、岩野 摩耶 (山口大学)、鈴木 拓人 (筑波技術大学)


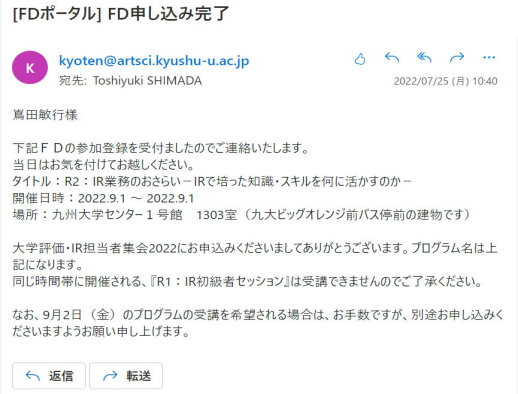
QA Agency の国際的な会合である、CHEA/CIQG や INQAAHE の関心から見てきた世界的な教育の質保証の潮流について解説する。また、昨年 11 月にイリノイ州シカゴで開催された 49th Annual POD Network Conference のプログラムの整理結果から見てきた米国における FD (Educational Development) の現状についても触れたい。

○は当日報告者

別紙2:

## 各セッションの申し込み方法について

①	「9. 申し込み方法」のセッションごとの申し込み先URL一覧をクリックする。	
②		九州大学関係者以外の方は「一般の方の参加登録はこちら」をクリックしてください。
③	<p>&lt;入力画面&gt;</p> 	必須入力事項と任意事項があります。所属・役職等の欄には、お手数ですが、 <b>所属機関名、部署名、職名</b> を記入してください。入力が済んだら、「確認する」をクリックしてください。
④	<p>&lt;確認画面&gt;</p> 	内容に問題がなければ、「登録」をクリックしてください。

⑤	 <p>The screenshot shows a web browser window with the URL <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/entry/apply_finish">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/entry/apply_finish</a>. The page header includes the logos for Kyushu University and UEII (Kyushu University Education Innovation Initiative). The main content area has a green header with 'HOME &gt; FD参加登録フォーム' and 'FD参加登録フォーム'. Below this, a yellow confirmation box states '申込みが完了しました。' (Application is complete) with a link to '[リターンダーに戻る]' (Return to Returner).</p>	この画面に進めば完了です。
⑥	 <p>The screenshot shows an email from <a href="mailto:kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp">kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp</a> (Toshiyuki SHIMADA) dated 2022/07/25 (Mon) 10:40. The recipient is 真田敏行様 (Miyata Toshiyuki). The email body contains the following text:      下記FDの参加登録を受付ましたのでご連絡いたします。      当日はお気を付けてお越しください。      タイトル：R2：IR業務のおさらいーIRで培った知識・スキルを何に活かすのかー      開催日時：2022.9.1～2022.9.1      場所：九州大学センター1号館 1303室（九大ビッグオレンジ前バス停前の建物です）      大学評価・IR担当者集会2022にお申込みくださりありがとうございます。プログラム名は上記になります。      同じ時間帯に開催される、『R1：IR初級者セッション』は受講できませんのでご了承ください。      なお、9月2日（金）のプログラムの受講を希望される場合は、お手数ですが、別途お申し込みくださいますようお願い申し上げます。</p>	<p>登録したメールアドレスにこのような確認メールが来ます。</p> <p>(しばらく待っても届かない場合には、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。)</p> <p><a href="mailto:kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp">kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp</a></p>

登録したセッションをキャンセル/ご欠席される場合には、九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター（[kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp](mailto:kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp)）までお知らせください。特に、グループワークがあるセッションでは、グループ分けを実施していますので、無断で欠席することのなきようお願いいたします。